

ダイバーシティ研究環境推進イニシアティブ（牽引型）

上位職を目指す女性研究者のための メンタリング・シャドウイング研修支援事業 SP 募集要項

【概要】

本事業は、キャリアアップを目指す女性研究者が、研究活動や業務のマネジメントについて学ぶために上位職の教員（以下「メンター」という）とのメンタリングやジョブシャドウイングを行う自主的な研修を支援するものです。

この研修を通じて上位職や組織運営を行う管理職の実態を知り、新たな視野・知見・意欲を獲得し、女性上位職研究者及び女性管理職の拡大につなげることを目的としています。

メンタリングとは

メンタリングとは教育研究活動やキャリア形成についてメンターから直接指導を受けることです。

シャドウイングとは

シャドウイングとはメンターの日々の仕事に同行し、様々なレベルでのコミュニケーションや意思決定を間近に見ることで、上位職研究者としての仕事のスキルや行動規範を学ぶものです。

【期待される研修の効果】

この研修により、以下のような知見の獲得や効果が期待されます。

- 学生への指導、他の構成員やスタッフとのコミュニケーション能力
- 大学運営や管理的業務に関する知識
- 共同研究の立ち上げ、推進、発展の実際
- 研究プロジェクトの運営方法
- 時間管理や優先順位の付け方等、上位職者のセルフマネジメント
- 計画作成・研修実施・成果報告のプロセスによる自己啓発力の向上
- キャリア形成に関するアドバイス
- 講義の構成

また、メンターを通じたネットワーク拡大も期待されます。

【シャドウイング実践機会の例】

- メンターが参加する会議、ミーティング
- ラボマネジメント全般
- メンターと学生との研究ディスカッション、論文紹介指導

- 共同研究打ち合わせ
- 博士論文発表練習会
- 授業・ゼミなどの運営
- 研究室に滞在し、様々な場面でのセルフマネジメントやコミュニケーションを観察
- 時間管理、優先順位の付け方等のスキル
- 事務対応、研究室スタッフとのコミュニケーション方法
- 1対1での直接指導（メンタリングセッション）

【研修計画における条件ならびに対象者】

研修は

1. 研修計画の作成
2. 計画に沿い、メンターによるシャドウイング研修あるいはメンタリング研修を実施
3. 研修効果について報告書作成

という3段階で構成され、これらを通して実施することで高い研修効果が期待できます。

A. 希望するメンターが学内の研究者の場合

対象：本学に所属する女性のポストドク等の研究員、助教、講師、准教授（特任教員でこれらの職層の者も含む）

内容：1時間以上のシャドウイングもしくは1時間以上の直接指導を、合計2時間以上行います。研修終了後に、ダイバーシティ研究環境推進室宛に研修報告書（様式あり）を提出します。

B. 希望するメンターが学外の研究者の場合

対象：本学に所属する女性の助教・講師・准教授（特任教員でこれらの職層の者も含む）

内容：滞在期間中に、シャドウイングと直接指導（メンタリング）を合計8時間以上実施します。

制限：研修先は国内に限ります。

※直接指導：研修者とメンターが研修内容に沿ったテーマで議論を行うこと

【支援内容】

A. 学内メンターの場合

- メンターリストの提供、及びリスト外のメンター候補者への趣旨説明
- 異なるキャンパスの学内メンターの下で研修を行う場合、研修に必要な旅費（上限10万円）

B. 学外メンターの場合

- メンターへの謝金（上限5万円）ただし、メンターがKnit連携機関※に所属する場合は支出不可です
- 研修に必要な旅費（上限15万円まで）

※Knit 連携機関：北海道ダイバーシティ研究環境推進ネットワークの共同実施機関である室蘭工業大学、帯広畜産大学、北見工業大学、日東電工株式会社、株式会社アミノアップ

【メンター】

研究者は、希望する研修内容にふさわしいメンターにあらかじめ内諾を得た上で、本事業への申請をしてください。必要に応じて、ダイバーシティ研究環境推進室からメンター候補者に対して研修の趣旨・意義などを説明し、希望するメンターの下で研修できるよう支援することも可能です。また、メンターの性別は問いません。

【研修可能期間】

2020年6月1日～2021年2月28日

【申請方法】

申請書に必要事項を記入し、希望する研修開始日の6週間前（最終期限：2020年12月10日）までにメールでダイバーシティ研究環境推進室(reed@synfoster.hokudai.ac.jp)まで送付してください。

*採択金額が予算額の上限に達した場合には、その時点で募集を終了します。

【事前相談】

メール、電話または事前予約の上での対面相談はいつでも受け付けています。

【審査】

ダイバーシティ研究環境推進室にて提出いただいた申請書により選考をします。選考の過程で追加の書類提出や面接を求めることがあります。

【主な審査の観点】

上位職への興味、意欲

研修目的の明確さ

【成果報告】

研修者は研修終了後1か月以内に、研修の成果を所定の書式で報告していただきます。また、学内の女性研究者に広く成果を波及するために、女性研究者交流会を兼ねた報告会にて研修の内容を報告していただく予定です。

【その他】

学外のメンターによる研修の研修者には、研修実施に際して秘密保持に係る誓約書へ記名押印いただきます。

また、本事業は、科学技術人材育成費補助金「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」の一環として実施しているため、必要に応じて書類の提出等を依頼することがあります。

申請書等の提出先・お問合せ先：

北海道大学人材育成本部 ダイバーシティ研究環境推進室

電話：011-706-3625

メール：reed@synfoster.hokudai.ac.jp